

会場名	サブリーダー	
	役職	氏名
大阪国際会議場 10階1009号室	次年度青少年活動委員長	斎藤 清貴
	次年度青少年交換委員長	横田 孝久
リーダー 役職・氏名	次年度ローターアクト委員長	山本 博之
泉 博朗 パストガバナー	次年度インターアクト委員長	小浦 芳生
	地区学友委員	栗原 大
	地区研修委員	辻本 一義
議事録作成者	担当副SAA 小切間 俊司	

開会：(15時00分)
発表者： 泉 博朗 パストガバナー
<p>【記録内容】 青少年奉仕活動は、次世代を作っていく有意義かつ重要な奉仕活動であることを説かれ、地区へも積極的に出向していただきたい旨要請されました。</p>
発表者： 斎藤 次年度青少年活動委員長 (15時38分)
<p>【記録内容】 ロータリーの五大奉仕部門のうちの1つとしての位置づけ、及び、RI・当地区における青少年奉仕の歴史を概観したうえで、青少年活動委員会の次年度活動方針・計画を説明しました。具体的には、RYLAセミナーの目標や研修内容、12歳未満の子供達を対象とした新プログラム(少年少女ニコニコキャンプの見直し、アーリーアクトクラブの検討等)、チームRYLAの育成発展、地区委員会から地区内各クラブへの情報発信等について説明し、2015-16年度春のRYLAセミナーと2016-17年度秋のRYLAセミナーについて報告しました。</p>
発表者： 横田 次年度青少年交換委員長 (15時52分)
<p>【記録内容】 異文化交流の意義・重要性について述べた後、1962年に青少年交換プログラムに参加した日本人とホストファミリーを最近になってインタビューした動画を映写した。また、2018~2019年度の派遣学生募集要項(交換実施国、交換期間、費用、応募資格等)について案内した。</p>
発表者： 山本 次年度ローターアクト委員長 (16時05分)
<p>【内容】 ローターアクトクラブの意義、日本及び当地区の会員数がそれぞれ約6400人・約270人であること等を報告し、具体的な活動内容(月2回の例会、卓話、クリーンハイク・献血・福祉施設訪問等の奉仕活動)を紹介した。2016-2017年度の実績として、全国統一アクトの日の活動</p>

内容、モンゴルへの海外研修、四地区合同情報交換会・交流会、青少年奉仕クロスプロモーションについて報告し、次年度の活動方針として、ロータリークラブ・インターアクトクラブ・米山奨学生等ロータリーファミリーとしての横のつながりの強化等を提唱した。また、会員に対し、ロータリーアクトクラブの例会へより頻繁に出席するよう要請した。

発表者： 小浦 次年度インターアクト委員長

(16時22分)

【内容】

インターアクトの意義・歴史を概観したうえで、当地区には8つのインターアクトクラブが存在すること、及び、各クラブの日常的な活動内容について写真を映写しながら詳細に報告した。また、香港インターアクトクラブが来阪したのを受け入れ、国際交流が図れたこと、フィリピンに三泊四日で海外研修に赴いたことも報告し、今後の活動に対する協力を要請した。

発表者： 斎藤 次年度青少年活動委員長

(16時33分)

【内容】

当地区・危機管理委員会の組織及び緊急連絡網について、図面を用い、説明した。

発表者： 栗原 地区学友委員

(16時35分)

【内容】

インターアクト、ロータリーアクト、米山奨学生等の「学友」がロータリークラブとの連絡を保ちたいと考えていることや、学友の参加を促すことが学友自身のためにもロータリークラブにとっても有意義で重要であることを訴え、学友会の組織・構成、活動内容について説明した。

発表者： 辻本 地区研修委員

(16時41分)

【内容】

自らの長期間にわたる地区ロータリーアクト委員長経験を基に、青少年の成長には目を見張るものがあり、青少年奉仕活動が有意義で重要なものであることを説かれ、また、地区へも積極的に出向していただきたい旨要請されました。

閉会 (16時50分)